

一冊の本から生まれた大和鉄道唱歌

～音楽とお話し～

令和3年(2021)6月6日 講演会

主催：なら・図書館に集う会 共催：奈良県立図書情報館

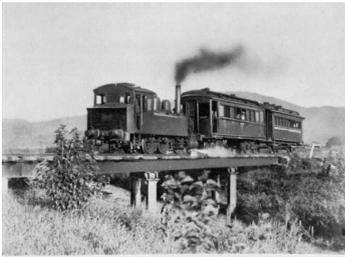
「大和鉄道」は大正7年(1918)田原本～新王寺間開業。「大和鉄道唱歌」は十五堂(水木要太郎)が当時一世風靡していた「鉄道唱歌」に倣い鉄道開業時に作詞した。沿線の地理、歴史、名産を読み42番からなる。

大和鉄道開業100年を記念して、大和鉄道唱歌に映像をつけDVDを作成し、また、現代版「新大和鉄道」の歌詞を募集し作成しました。下にDVDの一部を紹介します。

一 仙人の手は仮らずとも 縮地の術は鉄の 道に開く大御代の 御影はしげき信貴の山



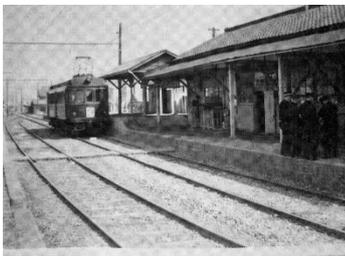
五 その川隈の王寺駅 三叉なせる院線の 外に一線また起こり 異の方に走り行く



十一 平野の水のことごとく 集まり来る河合村 五穀の神の祭らるる 広瀬の宮はここに坐す



二十四 町は大和の大阪と 称え来たりし商業地 戸数六百人口は 凡そ四千を数ふべし



開業当日の田原本駅